

### ◆学年末に向けて気持ちを引き締めよう◆

2月は1年の中でも一番寒い季節です。一方で大学の一般入試が多く行われます。受験生にとっては正念場で緊張しているでしょうが、精一杯実力を発揮してもらいたいものです。学校は3年生が自由登校になったので少し静かに感じます。

今月はマラソン大会や特色選抜入試、卒業式など行事が数多くあります。落ち着いて家庭学習に取り組むことができますでしょうか。朝、布団から出たくない、少しくらいさぼっても、という怠け心、失敗をしたときにすぐ言い訳をする癖、だらだらとゲームばかりする癖。私たちの心の奥には、たくさんの悪習、悪癖が潜んでいます。2月3日は節分です。この機会に、心の中にいる鬼退治をしましょう。

高校入試などにより3月の授業は少なくなるので、特に今月の授業は集中して受けましょう。

あと少しで今年度は終わってしまいます。この1年間でどれだけ成長できたでしょうか。次年度は、目標を高く掲げて、さらに自分自身を向上させましょう。

#### 大学入学共通テストの概要

3年生の先輩はちょうど受験の真只中。ちょうど1年前にあたる2年生も、そろそろ「受験生」としての自覚を持とう。

来年度は「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」と名称変更し、内容も少し変わります。英語の4技能検定導入の見送り、国語数学の記述式問題の導入の見送りが発表され、6月の発表から変更されました。現在での概要をまとめておきますので確認しておこう。

#### 位置づけ

国公立大一般入試（一部を除く）では、各大学・学部が実施する個別学力検査の前に、1次試験として必ず受けなければならない。また、私立大でも共通テスト利用入試を実施する大学は約8割にもなる。そのため、進学をめざす受験生にとって、受験するのが当たり前とも言える存在になっている。

#### 出題範囲

センター試験の問題は、高1・高2で学習した内容が全体の4分の3以上を占めると言われる。大学入学共通テストの目的は、大学教育を受けるために必要な能力の測定で、思考力・判断力・表現力を中心に評価される。高2までの基本的な学習内容をしっかり押さえておこう。

#### 日程

1月13日以降の最初の土日2日に実施される。現2年生が受験する令和3年度共通テストは、1月16日（土）、17日（日）に実施予定。共通テストでは、実施科目の中から志望校の入試に必要な科目を受験する必要があるため、志望校研究を行う際には、入試科目にも注目しておこう。

#### 教科・科目

センター試験では国立大の大半が5教科7科目以上を課している。共通テストでも国立大進学を視野に入れるなら、7科目受験はほぼ前提と考えて問題ないだろう。苦手科目の克服。他と比べて大きく得点が低い科目や苦手意識の強い科目があれば、今のうちに徹底的に対策・補強しておこう。

#### 受験者数

センター試験では約55万人が受験している。進研模試などの模擬試験の結果から、全国での自分の位置を把握し、具体的な目標や対策を立てよう。

#### センター試験から変更された点

数学…時間70分、数Iで日常生活などを扱った内容が出題される。  
英語リーディング…発音アクセントの問題はない。読解の問題となる。  
英語リスニング…大問6題、一回読みも出題。  
英語配点…リーディング100点リスニング100点（各大学に委ねる。）

## 2月の行事

- 3(月) 掃担当区域再編成
- 6(木) マラソン大会
- 7(金) マラソン大会予備日  
2年生進研マーク模試
- 8(土) 2年生進研マーク模試

初めてのマーク式、1年後の共通テストに向けた模試です。共通テストと同じ時間、配点なので、これを受験勉強のスタートと考え、今までの模試などを見直すなどの準備をしておこう。

- 11(火) 建国記念の日
- 13(木) 1・2年全校集会(限体育館)  
キャンパスカウンセリング
- 14(金) 特色選抜入試準備
- 15(土) 数学検定
- 17(月) 特色選抜入試(自宅学習)
- 20(木) キャンパスカウンセリング
- 21(金) 3年登校日
- 22(土) 特色選抜合格発表
- 23(日) 天皇誕生日
- 24(月) 振替休日
- 25(火) 学年末考査 1日目

今年度最後の定期考査です。年度の締めくくりとして納得のいく結果を残そう。

## 国公立大前期日程試験

国公立大の個別試験です。合格発表は公立大 3/1～国立大 3/6～です。最後まであきらめず、全力を尽くしてもらいたい。

- 26(水) 学年末考査 2日目  
掃除
- 27(木) 学年末考査3日目  
卒業式予行(3・4限)
- 28(金) 卒業証書授与式(10時～体育館)

## 次年度に向けて 今年度を振り返ろう

### 目標を立てよう

#### 学習習慣について

時間～平日は2時間、休日は3時間を目標に  
内容～予習→授業→復習のサイクルを徹底

#### 生活習慣について

毎日決まった時間に学習する

#### 進路について

志望校を考える

### チェックしよう～つまづきのもと～

#### 学習習慣について

- 定期試験の復習は誤答箇所の確認だけ
- 自宅学習をほとんどしていない
- 辞書を引かない
- 授業中、先生の説明を書かない
- 友達の宿題を写す
- 模擬試験の復習はしない
- 授業中、板書写しだけ
- わからなければあきらめる
- 予習はほとんどしない
- 教科書ガイドを写すだけ
- 復習はほとんどしない
- 定期試験対策は直前のみ

#### 生活習慣について

- 学習を始める時間は決まっていない
- ゲーム、スマホを2時間以上手にする
- 「起床時間」「就寝時間」が毎日バラバラ

#### 進路について

- 職業、学問を調べない
- 「受験勉強を始めるのはまだ先でよい」と思う

誰でも勉強に身が入らないときはあります。

そのようなときに限って、『周りに流されて』とか『部活動が大変で』と言い訳を探してしまいます。そして、『4月になったら頑張ろう』と後回しにします。しかし、それでは4月になっても何も具体的に始められません。

自分の甘さに気付いている人や、将来の夢を諦めたくないと思う人は、今から、小さなことから、1つ、頑張り始めよう。



## 2020年度 大学入試センター試験速報 各科目平均点

教科	科目	2020年度 センター中間集計	2019年度 センター発表
国語	国語	116.57	121.55
数学	数学Ⅰ・数学A	◇ 53.25	59.68
	数学Ⅱ・数学B	51.58	53.21
外国語	英語 筆記	118.90	123.3
	英語 リスニング	29.32	31.42
地理・歴史	世界史B	65.10	65.36
	日本史B	67.22	63.54
	地理B	◇ 67.94	62.03
公民	倫理	65.23	62.25
	政治経済	56.26	56.24
	現代社会	59.06	56.76
	倫理・政経	66.39	64.22
理科	物理基礎	◇ 34.32	30.58
	化学基礎	28.99	31.22
	生物基礎	32.65	30.99
	地学基礎	28.06	29.62
	物理	61.64	56.94
	化学	56.23	54.67
	生物	58.69	62.89
	地学	◇ 40.34	46.34



~~~~~  
 文系5教科 900点満点予想平均点

●英語(200点)、国語(200点)、数学(1+2)(200点)、(地歴・公民)×2(200点)、理科(100点)

ベネッセ 548 河合塾 548

~~~~~  
 理系5教科 900点満点予想平均点

●英語(200点)、国語(200点)、数学(1+2)(200点)、地歴 or 公民(100点)、理科×2(200点)

ベネッセ 559 河合塾 553

~~~~~  
 英語は、筆記+リスニングの合計 250点満点を 200点満点にて圧縮。



# 2020年度センター試験問題講評要約

## 国語

— 全体的に文章量が減少、漢文でイラストを選択する設問が出題された。難易は昨年並 —  
全体的に本文の分量が減少し、設問数・解答数も減少した。漢文は詩単独での出題だった。評論では、本文の趣旨に関する対話形式の設問が、漢文では五言詩に描かれた情景についてイラストを選ぶ設問が出題。昨年同様、各大問とも文章全体の趣旨や主題を把握する力が求められた。難易は昨年並。

## 数学Ⅰ・A

— 「場合の数と確率」で異なる事象の確率を考える問題が出題された。昨年より難化 —  
大問数、配点は昨年と同様。問題量、計算量も昨年並であるが、目新しい問題が多く出題された。「数と式」では1次関数のグラフの傾きや切片について考察する問題、「場合の数と確率」では4つの異なる事象の確率を考える問題、「整数の性質」では循環小数と $n$ 進法に関する融合問題がそれぞれ出題された。難易は昨年より難化。第1問〔1〕〔2〕〔3〕、第2問〔2〕は数学と一部共通であった。

## 数学Ⅱ・B

— 「指数・対数関数」と「図形と方程式」の融合問題が出題された。昨年よりやや難化 —  
大問数、配点は昨年と同様。問題量、計算量も昨年並。「指数・対数関数」では「図形と方程式」との融合問題が出題され、数学Ⅱの全分野から幅広く出題された。また、「ベクトル」では四角形の形状を判断する問題が出題された。難易は昨年よりやや難化。

## 英語

(筆記) — 出題形式は変更なし。第4問Aでは図をもとにした計算問題が出題。昨年よりやや難化 —  
例年通り、前半では発音・アクセントや語彙・文法の知識が問われ、後半では図表を含む説明文、物語や論説文など、多岐にわたる素材を読み解く力が求められた。文法・語法などの基本的な知識とともに、英文全体から素早く内容を把握する力が求められた。例年よりも取り組みづらい問題が増え、全体としてやや難化した。

(リスニング) — 日常の場面における実践的な英語力が問われた。昨年よりやや難化 —  
昨年に続き、音声情報と視覚情報を組み合わせて答える問題が出題された。場面に応じた聞き取りが必要とされ、実践的な英語力が問われた。情報の類推や口語的な応答表現を問う問題を中心に取り組みづらい出題がみられ、第3・4問では解答時間が短くなった。